

ETFは世界中で6,087銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.4兆ドル（約389兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流出入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流出入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流出入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2016年11月のETF資金流出入

11月の資金流入は、アメリカ大統領選におけるトランプの勝利を受け560億ドルに上り、2014年12月以来最も大きな資金流入となりました。大統領選の週の資金流入は最高値を更新した米国株式が牽引、月間の3/4を占めました。

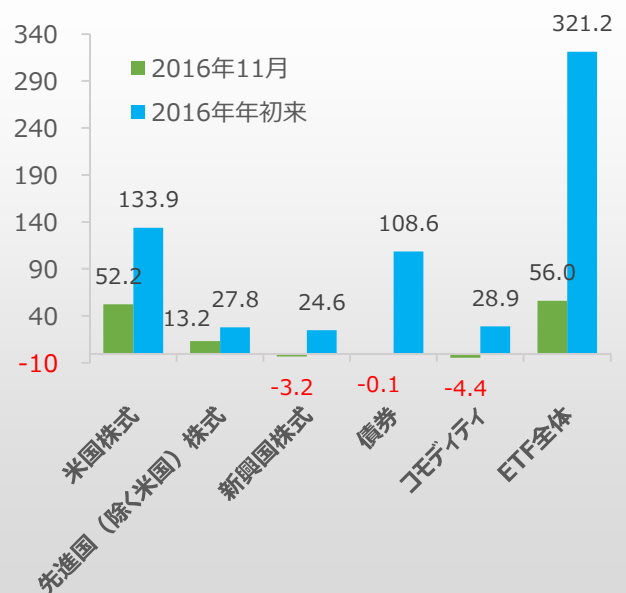
米国大型株ETFは198億ドル、米国小型株ETFは105億ドルと、新たな資金流入記録を樹立いたしました。景気循環セクターへの資金流入も多く、金融セクターが83億ドル、次いで資本財・サービスが49億ドルの資金を集めました。

債券カテゴリーでは物価上昇の兆しや財政刺激策へのシフトに対する期待からインフレが進行するとの見方が強まり、物価連動国債ETFが買われ、過去の流入記録を更新、24億ドルの資金流入となりました。一方通常の米国国債ETFは12月の利上げ観測から、20億ドルの資金流出となりました。債券ETFの年初来の資金流入は1,086億ドルとなりました。

新興国債券・株式ETFは、大統領選後のドル高基調を受け、其々34億ドルと32億ドルの資金流出となりました。月末に向けて流出は落ち着き、メキシコ・ロシア株ETFは逆に流入に転じ、5億ドル・3億ドルと、過去最大の流入となりました。

金ETFは金利上昇および経済成長に対する市場参加者の見通しの改善を背景に、45億ドルの流出となりました。

【世界のETFの資金流出入（十億ドル）】

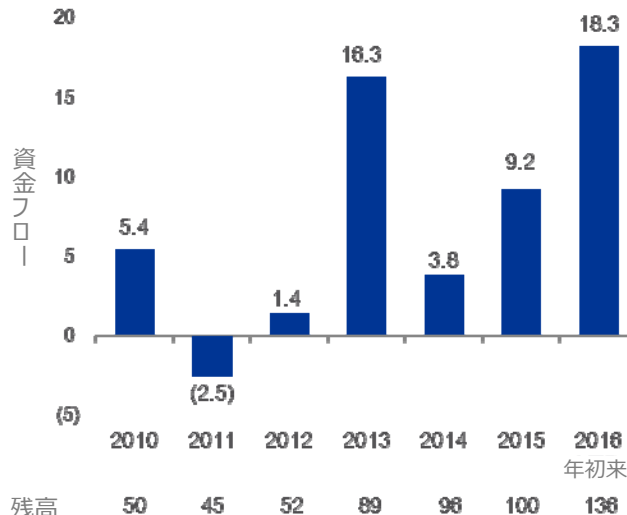


出所：「BlackRock Global ETP Landscape November 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

【グローバルの米国小型株ETFへの資金流入（単位：10億ドル）】



出所：「BlackRock Global ETP Landscape November 2016」

米国小型株ETFは2016年11月、米国大統領選の週を中心に、過去最も大きな月間資金流入を記録しました。年初来からの資金流入は183億ドルと、年間の資金流入額においても、当該ETFの設定以来、最も記録的な値となりました。11月の資金流入の背景には、次期大統領であるトランプの掲げる政策に対する投資家の期待があげられます。これまでに表明された政策が仮に実現された場合に小型株銘柄に影響を与える可能性について、ブラックロックは次のように考えます。

1. 法人税の引き下げ：法人税が引き下げられた場合、従来大型の多国籍企業と比較し実効税率が高いと言われていた小型株銘柄にとって、より有利に働くといわれている
2. 世界貿易の縮小：世界貿易の縮小が実行されれば、米国国内での支出が増加し、海外からの収益に依存しない米国の中小企業は、大型株と比較し、より恩恵を受ける傾向にある
3. 大規模な規制緩和：企業に対する規制緩和が実施された場合、小型株指数の大半を占める金融やエネルギー企業の利益や成長を押し上げ、物価上昇に貢献すると見られている

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。小規模の企業は、大企業に比べて不安定であり、悪影響を受けやすく、その証券は変動しやすく、流動性が低い可能性があります。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号

加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。